



第25回

淡々レース 10月11日



淡輪に向けてスタートした各艇

右：前夜祭の様子

みなさんごきげんです



淡々レース優勝

TWO TON 佐藤 明

昨年は淡輪からサントピアのコースで優勝、今年はサントピアから淡輪で優勝しました。これで往復2年連続勝利ですが、修正では2位のグラシャスと1秒差で、からくも逃げ切った感です。やや二日酔いで頭が少々痛かったですが、スタート海面に出ると北からの15ノット前後の風。ジェネカーの風にピタシで二日酔いもどこかに吹っ飛びました。有利な本部船より絶好のスタート。直ぐにジェネカーを展開し7ノット以上で快走。他の艇はスピンはきついようで数艇しか揚げていない。ジェネカーは上れるスピンと言うかリーチングより上が得意のセールです。トリムも簡単、加えてJ-92はヘルムが非常にニュートラル。直ぐにフリートをリードし横には快速艇のアルビレオが併走しています。まるで淡々レースのために設計された艇みたいですね・・・？途中クローズになったためジェネカーを下ろしゼノアで走りましたが、この後またジェネカーを展開しようとセットした時にトラブル。あまりに大きなセールのためか展開の時にねじれでうまく揚がらずこれで下ろしセールを手繰っていると海中に落ち、水中でパラシュートし大トラブル。回収に手間取り他艇に抜かれましたが、最初の貯金が効いたのか何とか優勝できて「ほっと」した感じです。

ファーストフィニッシュしたアルビレオ



下左：

パーティを待ちきれない参加者

下右：

食材が次々と運ばれていった



対外レース(シアトルカップ)

グラシャス 伊東 邦夫

毎年行われている神戸、シアトル姉妹都市記念のシアトルカップレース 主に関西ミドルポートクラブが主役で日本のトップチームが参加している。艇も何千万もかけてるような・・・我々は貧乏クラス(クルーザークラス)でサントピア・和歌山・的形・西宮・淡輪などからの参加です。偶然にも結果は阿波踊りと同じ1位、2位で1位グラシャス、2位エアピーク(ヤマハ-28)でした。うれしかったのは全クラス同時スタート同一コースだったので、レーサー、クルーザーとも同一の総合があればグラシャスが修正1位になってました。次は大阪湾Wハンドレースです。

優勝したTWO TON



ひまわりレース 8月23日



風の弱かった第1レースはバラバラスタート(右)。風が吹いてきた第2レースはなかなかのスタートとなった(上)



IRC優勝

リュウセイ6 オーナースキッパー 古賀正行

先月に続き、優勝との発表があり、当初“ほんと?”と疑いました。勝因はIRCの出艇数の減少、ライバル艇のレースリタイヤまたクラス替え。等々いくつかありますが、今回レースの乗員人員が5名と最低乗員数であったため、レースに臨み“人数少ないから無理はやめとこな”と勝つことよりレースを楽しむことに専念しました。それが今回の結果につながったと考えております。

このごろ我が艇の乗り方が変わってきています。クルーの高齢化と、私自身の身体の変化、目が衰え夕方や、雨で回りが暗くなると、テルテルがみえなくなり、長年の勤でセーリングしています。そこでたどり着いたのが、若いリュウセイの時代のデッキ上でバタバタや怒鳴り声は聞こえませんが、機会があれば見てください、レースを楽しんでいるクルー達の笑顔です。

IRCで優勝したリュウセイ6(前)。後方はStar of Bethlehem

優勝してニコニコのリュウセイ6のメンバー



今回のレースは外来艇が参加(MARCH)

オープンで優勝したHeat Wave 夕方には見事な夕焼けが!秋が近づくのを感じました。



コスモスレース 9月13日



スタートする各艇

IRC優勝

Moweクルー 森 弘美

今回が生まれて初めてのヨットでした。前日は出港してすぐに雨が降り出し十数分で帰港、レース当日はまったく何も分からず、言われるままにどんくさいながらも右に左に動いていたように思います。風が弱く苦戦だったように思いますが、気がつけば他のヨットの先頭に☆

初参加で1位という体験をさせてもらいとても嬉しく思います。いいスタートだったのもっともつとついろいろな海や風でヨット体験をしたいと思いました。またよろしくお願ひします。

IRCで優勝したMowa



初参加で優勝しVサインでニコリまた参加してね〜。

オープン優勝

これってまぐれ? TOTORO 瀬下

メンバーは完璧のドリーマーチーム!

でも船は快速ドリーマーでは無いので、最初は皆とまどっていましたが、そろそろ鈍速?トトロに慣れてきた様子。そんな中、快晴・微風の第一レース。スタートは失敗!でも位置が良かったのかさほど遅れず、コース短縮で下マークフィニッシュ、なんとツートンに続いてチビズルとの1,2フィニッシュ!

“ラッキー!!”

続く第二レースもスタート、コース共に大失敗。超微風の中、先行艇に1レグ遅れ。“ガックリ”残念! っと思いきや 全艇タイムリミットでアウトって・・・”ラッキー!!” と言うわけで、はとんど まぐれのTOTOROでした。

オープンで優勝したTOTORO 動きが俊敏です

やはりニコニコのTOTOROのメンバー



第4回ディンギーレース

9月27日



常勝古谷破れる

今年度の最終レース、得点を稼ぐ最後のチャンスとあって、8艇の参加があり、スタート前から熱気が感じられた。海面は北寄りの風3m/s、満月の大潮で下げの潮が強い。

第1レース、四ヶ所がスタートから好調で、元国体選手を1上からサイドマークまでリード、さすが「中・高年の星」はやるな！と期待を持たせたが、第2、第3とレースが進むに連れて順位を落としていったのは残念でした。

常勝古谷は「だんじり」の疲れが残っているのか、いつもの切れ味がみられず、着順では3レースともトップを取ったが、修正で武田・片山チームに総合1位を奪われた。

ヤングスト小寺は3レースとも安定して5位を確保、来期の飛躍が期待される。

長尾は3レース完走を果たしたが、更に練習に励み、集団に着いていけるようになれば、他の艇の走らせ方がよく見えるようになり、万年ビリからの脱却も近いだろう。

他の各選手はそれぞれ実力通りの走りであった。(文中敬称略)
(本部艇 ドミンゴⅢ 吉田恒男)

第4回ディンギーレース優勝

武田・片山チーム 片山哲也

まさか優勝するなんて

着順は4-4-3

レーティングで優勝

ヨットレースはわからないものですね。初めての参加で今回はクルーということもあり、いろいろと他艇の観察もでき、おもしろかったです。微風と潮の流れにより、マーク回航があんなに難しいものとは思いませんでした。また、その中でもなめるように回航する艇もありちょっとびっくりです。

関係者の皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。



優勝した武田・片山両選手

成績表

選手名	艇種	順位
武田片山	シカウ	1
古谷	シーホッパー	2
吉田	レーザー	3
四ヶ所	シーホッパー	4
小寺	レーザー	5
高野	シーホッパー	6
長尾	シーホッパー	7
廣田松村	シカウ	8

成績表

ひまわりレース

クラス	艇名	艇種	順位
IRC	Ryusei-6	FARR-34 IMS	1
IRC	star of bethlehem	SEAIS-R34A	2
IRC	EMI	Mumu36	3
OA	HeatWave	Farr-25PL	1
OA	TWOTON	J92j	2
OA	海燕Ⅱ	X-99	3
OA	Totoro	Y-23Ⅱ	4
OA	グラシヤス	FS-28	5
OA	YAJIROBEY	FS-32	6
OA	MARCH	FARR-44	7

コスモスレース

クラス	艇名	艇種	順位
IRC	Mowe	Y-30SN	1
IRC	EMI	Mumu36	2
IRC	チビズル	SEAM31	3
IRC	Ryusei-6	FARR-34IMS	4
OA	Totoro	Y-23Ⅱ	1
OA	海燕Ⅱ	X-99	2
OA	グラシヤス	FS-28	3
OA	HeatWave	Farr-25PL	4
OA	TWOTON	J92j	5

淡々レース (クラブ所属艇のみ抜粋)

艇名	艇種	順位
TWOTON	J92j	1
グラシヤス	FS-28	2
海燕Ⅱ	X-99	3
マーフィー	DEHE-41	5
メーベ	Y30sN	6
ヤジロベ	FS-32	13
チビズル	SEAM-31	14
JOY RIDEⅡ	YAMAHA-30S2	15
ソアレ	Y-25ML	23
Tri-Bond	Y-30sⅡ	25
Vivace	Y28s	27
Puku Puku	PIONI-9	28
恵友丸(プリズム)	PIONI-9	31
FORWARD	PW1000	32
spirit of shiwaku	MUMM30	34
ザ、ミリオン	デフォ-42	35
南風	WIN11.2	38
風楽遊	BENE-OCE41	41
ターニヤ	Y-25ML	42

プチクル加太編 9月6日



加太に到着した各艇

快晴の 海峡臨み ひいなのお湯

幹事艇 Puku Puku 市川

その日、雲ひとつない快晴。参加は、5艇+1車。24人の多勢となりました。

各艇8時半ごろ、申し合わせて出航。逆潮ながら、好天に恵まれ、予定の11:00には、漁協推薦の岸壁に全艇舳を取りました。ここからは、「大阪屋」仕立てのマイクロバスがお迎えです。

ひいなのお湯に到着すると、まずは温泉。露天風呂からは遙か明石海峡を臨み、早瀬を行きかう船が眼下に。雲ひとつない空を映して、蒼く煌めく海が美しい。12時過ぎからは、プチクル名物の宴会。鰻の陶板焼きなど・・・に舌鼓。9月連休のクルージング計画や、釣りの情報交換。淡々レースなどなど、話題は尽きない。宴会ののち、「栗島神社」散策など三々五々お楽しみ。帰路はまっしぐらに帰る艇、釣りを楽しみながらのんびり帰る艇（某艇はさごし2尾の釣果とか。）またセーリングを楽しむ艇あり。楽しいデイクルージングとなりました。

来月は10月4日（日）、アンコールに於いて「津名」の予定。幹事はJOYRIDEさんにバトンタッチです。楽しいプランよろしく！



今年、淡輪に来訪したカタマラン艇“JADE”から便りが届きました。

親愛なる淡輪の皆様

JadeはBusanへ帆走し、5週間滞在しました。そのハーバーは余り良くありませんが、Busanの街はナイスでした。私どもはそれから南朝鮮の南海岸へ帆走し、現在齊州島にいます。ここは景色が素晴らしく、また旅行者を魅了する美しい大きな島です。（あなた方も）ここへ是非来るべきですよ。

（ヒビキ君へ：モリーとナンシーへのかわいらしい歌に對し重ねて御礼を言います）

2009年9月1日 Cam & Arni

追記

10月26日現在、同艇は沖縄・宜野湾に滞在中で、これから宮古島、石垣島を経て、台湾へ向かうとの事です。

プチクル津名編

10月4日



さかたのご主人です

みんなで記念撮影

10月プチクルレポート

文責：中島@JOYRIDE

10月のプチクルは「JOYRIDE II」と「幸宝」の担当で毎年恒例、洲本の「さかた」で焼肉ランチです。本当に美味しいお肉がお手頃な値段で楽しめます。コースメニューは“焼きしゃぶ”に始まり“ホルモン”や“特選フィレ”更に贅沢な生でも食べられる“由良のアワビのバター醤油焼き”など盛りだくさんでした。こちらのお店は島田紳助や芸能人などもよく来るらしく、店内にはサイン色紙がいっぱいです。淡路島の料理といえばハモなどの海の幸がメインというイメージがありますが、これなら焼肉を食べに洲本に来る甲斐はありますよ。淡輪から12マイル、ヨットなら約2時間30分程なので週末に1泊でのミニクルージングには最適です。ぜひ皆さんも一度行かれてはどうですか。（通常は夜のみの営業です。）

右：幹事さん、大満
足でニッコニコ



上：デカッいあわび

右：ぶ厚いお肉
絶品です



2009クリスマスパーティーのご案内

1. 日時 2009年12月19日（土）
2. 場所 リーガロイヤルホテル 堺
堺市堺区戎島町4-45-1
（南海堺駅西口すぐ）
072（224）1121
3. 会費 葉書でお知らせします